

入谷の里山活性化協議会 むらづくり新聞

vol.1

発行者：
入谷の里山活性化協議会
会長：阿部國博
文責：大場黎亜
発行日：
2025年10月12日(日)

祝！天皇杯受賞！

令和7年度（第64回）農林水産
祭天皇杯において「入谷の里山活
性化協議会」が、むらづくり部門の
「天皇杯」を受賞することになりま
した。つまり、私たち入谷の取り組
みが、むらづくり部門で全国1位に
なったのです！ 農林水産祭とは、
国民の農林水産業と食に対する認識
を深めるとともに、農林水産業者の
技術改善及び経営発展の意欲を高め
るため、農林水産省と公益財団法人
日本農林漁業振興会の共催により昭
和37年から実施しています。

天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本
農林漁業振興会会長賞は、過去1年
間の中で農林水産大臣賞を受賞した
全国各地の優秀な農林水産業者45
3点の中から決定されます。表彰は、
勤労感謝の日の11月23日（日）
に明治神宮会館で開催する農林水産
祭式典において行われます。

各賞は、農産・畜産部門、園芸部
門、畜産部門、林産部門、水産部門、
多角化経営部門、むらづくり部門の
7部門に授与されます。南三陸町で
は、以前水産部門において「戸倉っ
こ牡蠣」で天皇杯を受賞しました。

むらづくり部門の表彰においては、
県内初の快挙！受賞理由について、
地区の文化や農業・林業等のなりわ
いの継承などさまざまな面で、移住
者を含め地域の若者たちと共に地域お
こしに励んでおり、地域資源や人材
を活かした特色ある活動を行っている
ことが高く評価されました。

■具体的な評価ポイント

具体的には、まず農林業部門にお
いて「南三陸農工房」をはじめ地域
の一次産業者、グリーン・ツーリス
ムインストラクターたちがさまざま
な野菜や果樹を育て体験提供し、町
外との交流促進とファンづくりに繋
がれていることが評価され、令和6年
「しおかぜ葡萄」のブランドینگ
にも地域として貢献していること、
若者を中心に里山保全団体を立ち上
げていることなども注目されました。
そして、生産者の顔が見える「入谷
サン直売所」は、継続的に取り組み
年間1千万円を超える売上を出して
いる実績が評価されています。
また、旧中学校を活用したもののづ
くり工房「YES工房」で里山から
の木材を加工していることや多くの
体験受入を可能にしていること、

「入谷の里山活性化協議会」とは？



入谷地区の「食・体験・宿泊」を担うことがで
きる各種施設の団体が加盟。高齢化により地域の
文化や生業の継承危機、そして令和2年のコロナ
ショックにより観光関連施設もピンチ。そこで、
入谷地区の交流事業者（宿泊・食事・体験）を主
とし、令和3年に結成しました。

構成は「南三陸まなびの里いりやど」「ひころ
の里コンソーシアム」「南三陸農工房」「校舎の
宿さんさん館」「南三陸YES工房」「入谷サン
直売所」の6団体が主な構成員で、その他若手グ
リーン・ツーリズムのインストラクター・コー
ディネーターも主力になっています！下は20代、
上は70代と幅広い年齢層で、地元出身者も移住
者も混ざり、男女様々なメンバーで和気藹々と活
動中ですが、地域の皆さんとの連携あつての協議
会です！

数々のイベントを予定しています！

10/26(日)ひころマルシェ
11/2(日)15(土)30(日)甚之丞の史跡を辿るツアー
11/15(土)いりやどライブラリー読書会
11/16(日)ひころde落語会
11/29(土)演劇会、甚之丞シンポジウム
翌1/11(日)新春イベント(農はだて、読書会、上映会)
＼近々皆さんとの天皇杯祝賀会も計画しています！／

…書ききれないも企画まだまだ！

入谷の里山ねっと

をチェック！

